

ランクへの道筋～はじめの一步から～

文責： 慶応義塾大学 西山修平

こんにちは！2016 年度慶應ディスカッションチーフを務めていた西山修平です！まず今回レクチャーを書くという貴重な機会を与えてくれたエデュケ局のみんな、ありがとうございます！このレクチャーが現役のみんなはもちろん、エデュケーターである上級生の参考にもなったら嬉しいです！！

では本題に移ります。みなさんはランク取りたいですか？もしその気持ちがあるんだっただけ目指してほしいです。なぜならこう断言できるからです。

「ランクは誰にでも取れます。」

強豪校弱小校関係ありません。大事なのはその気持ちをもっていかに努力できるかです。しかしその努力の方向性がわからず伸び悩んでいる人けっこう多いと思います。実際僕も現役時代モチベはあるけど何を鍛えればいいかわかんないし、とりあえずひたすらディスやってればいいんや！って気持ちでやってたら全然伸びなかった人間です（笑）今回はそんな人たちのために、僕の成功・失敗談を踏まえて僕の考えるランクへの道筋をはじめの一步から示していきたいと思います！参考になれば幸いです！！

目次

- 0. 前提
- 1. 最初から意識すべきこと
- 2. セオリー
- 3. アーギュメント
- 4. トリート・ハンドリング
- 5. 理想のスタイルを確立する
- 6. 内容面を意識したディスを&プロソルの殻を破る
- ☆時間がない人が優先してやること
- ☆2年生がランクをとるために（春セミ）

0. 前提

まず最初にすべきなのは自分のモチベートです。生半可な覚悟ではランクは取れま

せん。何で自分がランクを取りたいのか、ランクをとったらこんなにいいことが！とか色々考えましょう。これは本当に重要で、例えば辛いときとかにこのモチベを想起すると折れずに奮起することができたりします。僕の場合は、慶應はずっと弱小校と言われてきてその評価を覆したいという思いと、自分が上手くなって後輩を育て慶應を強豪校にしたいという思いでランクを目指していました。この思いがあったからこそ最後までやりきることが出来たんだと断言できます。みんなも自分なりのモチベを持とう！またランクをめざすのであればどうせなら**トップ**を目指してください。確かにこいつには勝てないと思うやつがいるかもしれませんが。でもディスっていうのは紙一重で順位が変わってしまう競技です。勝てると思って立ち向かえば、ほんとに勝てちゃうなんてこともよくあります。僕が現役の時、春セミではD-取ればいいやって気持ちで臨んだら、結局そのランクが来ただけでした。その時は満足しましたが、試ジャッジでもジョイントでも俺より結果が上の奴と当たって勝つことができるとこいつらに俺全然勝てたんだなって、妥協したことをめっちゃ後悔しました。今でさえ4th エキシビでああしてればなって思ったりします。みんなには同じ思いを味わってほしくないのだから**トップ**目指して頑張ってください！

そして自分が成長するためには当然そのための**環境**が必要になってきます。特に弱小校と呼ばれている大学に所属する人たちは、自発的にそういった環境を作らなければ成長は一向にしないです。ではどうすればいいのかというと2つあると思います。1つは**他大学とのプレパ**を積極的に行うことです。僕はインナーでろくなプレパができてなかったの、立教大学をはじめとする様々な大学にインナーを引き連れてお邪魔させていただきました。最初はためらうかもしれませんが、安心してください。どの大学の人も温かく迎えてくれますし、他大学の先輩は本当に熱心に教えてくださります。バンバン行きましょう！さらに自分が行くだけでなく、自大にも呼ぶことも大事です。現在マスター制度というものが運営されているのでそれをぜひ活用して、他大学の先輩にみっちり教えてもらいましょう！

そして2つ目は、自大学でも他大学でもいいので**ディスの師匠を探す**ということです！！これほんとにおすすめてす！！僕は明治大学のなおたさんにいつも個人プレパなどで教わっていました。結果先輩の考え方や型などが身につき、それをベースに自己のスタイルが完成していったという感じです。今思うとなおたさんに教わり初めてから、急激にディスがうまくなっていきました。こういうディスができるようになりたい！って思った人を師匠にしましょう。師匠は辛いこと苦しいことなんでも相談にものってくれるので、弱小校にしようが強豪校にしようぜひ自分の師匠を見つけてください！※もしまだ全然自分の強みなどがわからず誰を師匠にすればいいかわからないって人は以下の4番のステップまでを終えたら見つける形でも大丈夫です。このころには自分の向き不向きとかがだんだん分かってくるので！ですが対面でのプレパは伸びやすいので師匠でなくとも身近な先輩などにバンバン頼みましょう。

最後にブレパ方法について。ブレパは基本的にインプット→アウトプットのサイクルを繰り返しましょう。インプットはリフレやレクチャーなどで学ぶことです。テーブルの上手い人の技術を盗むこともインプットと言えるでしょう。そして僕が強調したいのは**アウトプットの重要性**です。読んでくれてる人の中でリフレをもらっただけで満足している人はいませんか？それだけでは正直学んだことを活かしきれません。当たり前ですがしっかりアウトプットをしてください。アウトプットの仕方にも工夫が必要です。学んだことをテーブルで実践できたら理想ですが、実際に学んだことを活かせる状況に必ずしもテーブルになるかと言ったらそんなことはありません。だからちと寂しいですが一人で、学んだことを活かせるような**シミュレーションをする**のがおすすめです。例えばアーギュトリートでは、入りから最後のSまでの流れを一人でやってみます。インプットした知識もアウトプットしなければすぐに腐ってしまうので、学んだその日にアウトプットできたらしちやいましょう！インプット→アウトプット→インプット→、、、というこのサイクルがシンプルですが一番伸びます！

また CP にもらうリフレだけでなく**自己リフレ**もめっちゃ大事にしてくださいね！僕のおすすめの自己リフレの方法は、

今日出てきた自分のダメなところ（トリートの仕方とか）をあげきる

→リフレとかを参考に改善策を考える

→そのときの CP、師匠などに意見を求める

→できなかったところをシミュレーションなどでアウトプット

って流れです！

自分で考えるとやはり、自分に合った対処法などを考えるので身に付きやすく、伸びが違います！ぜひやってみてください！

自分のモチベート（トップを目指せ）

環境を整える（他大学とのブレパ + 師匠を探す）

ブレパはインプットアウトプットの繰り返し（アウトプットの工夫+自己リフレ）

1. 最初から意識すべきこと

さてこれからは具体的にどう上手くなって行けばいいのか教えていきたいと思います！まず、みんなが技術などをつけていく上で短期間ではなかなか向上しにくい項目が僕の経験上3つあります。それは**プレゼン、懐疑的視点、介入量**です。プレゼンはそのまんまで、CCFだけではなく簡潔な説明、人をひきつけるしゃべり方などなどいろんなものを指します。懐疑的視点とは内容面におけるダウトや反論などがどれくらい浮かぶかということを意味します。これらは言わずもがな重要な技術ですよ。特に後者がなければ議論しているとも言えません。そして最後の介入量は文字通りの意

味ですがなぜ重要なのでしょう。当然少ない介入でも上位をとることは可能です。しかし安定度でいったらやはり介入が多いほうが高いですし、1位になる人というのは常に介入しテーブルの中心になっている場合が多いです。そのためこれからは常にテーブルで一定の介入量を保つということを意識しましょう。もしなければじぞり癖がついちゃいますよ（特に上のテーブル行ったとき）！以下に介入量を保つコツをいくつかあげたので参考にしてください。

- オピメの練習をする（話すことに慣れる）
 - 簡単な介入をあげきる（def, rsn, effect などのマストQ、サマカンなど）
 - 空気を読まない（分からないときはしっかり分からない！という、オーソリある人の発言を鵜呑みにしない、など）
 - 常に一つでも上の順位を目指すことを意識（途中で気持ちが折れることもなくなります）
- etc、、、

繰り返しになりますがこれら3つの項目は他の項目と比べると短期間で向上させるのは難しいです。一方SやCなどは後述しますが工夫すれば比較的早く向上します。だから今日このレクチャーを読んだ日からこれら3つを意識するようにしましょう！またこれら3つの中の特に懐疑的視点を磨くためにもコンパリのテーブルを定期的に組むこともおすすめです。普段コンパリはあまり行かないですし、ついでにコンパリに慣れちゃいましょう！

プレゼン、懐疑的視点、介入量は一朝一夕で身につかない
→今日から意識！！
→コンパリを定期的にやろう

2. セオリー

さてそれでは長くなりましたが具体的にどういったステップで上手くなっていけばいいかを教えたいと思います。まずはディスをするうえで必要なセオリーを身に付けましょう。これがなければ極論ディスを理解することもできないし、後から身に付けるアーギュもSもできないといっても過言ではありません。まずはディスカッションのルールともいえるセオリーを理解しましょう。セオリーの理解方法は人それぞれで、Take Plan から逆算して考えたり、セオリー100問をやったり何でもいいです。ある程度理解したなと思ったらそれでオーケーです。どうせアーギュやSを練習するうちに理解も深まるので！

まずはセオリーを学ぼう！（ある程度まででオーケー）

3. アーギュメント

次のステップはアーギュメントです。ここでアーギュメントのハウツーを頭に叩き込みましょう。特に練習してほしいことはアーギュメントを出している際に反論・Sなどに対し**どう粘るか**、そしていつ引くか**引き際を見極める**ことです。粘る際は学んだセオリーなどを用いつつセオリーの理解も深めていきましょう。またダウトに対してダウトで返したりして懐疑的視点も鍛えましょう。次は引き際に関してです。僕が思うにアーギュメンターの一つのゴールは DA プレになってそのアイデアをコンパリで話すことです。だからまず前提としてそのアイデアが DA、コンパリにどう落ちるかを考えておく。そのうえで、基本は納得するまで粘ってもいいですが自分のアイデアにいい印象を持ってもらうためにも、しっかり引き際を設けておく。(例えばデータがコンセ取れたら OK とか) これらのことを特に意識して練習をしてほしいです。このステップでアーギュを理解することが次のステップにつながるのだからしっかり基本的なアーギュのハウツーをまず理解してください！

どう粘るか 引き際を見極める！

4. トリート・ハンドリング

さあ次は待ちに待ったトリート・ハンドリングです。技術的にはカンファメとサジェスチョンを鍛えていきます。これらを苦手に行っている人はけっこう多いと思います。僕も最初は全然できず伸び悩んでいましたが、あるときから急激にできるようになりました。それは「型」を学ぶということです！まずカンファメですが、僕はチャートの場合分けして**自分が使いやすいチャート**だけを使うようにしていました。具体的にはストリームチャート、クリアアングリア、2項対立のチャートなどで、基本的には僕はこれら3つを使ってカンファメしていました。カンファメができない理由としてどのチャートに落としづらいか分からないということがありますが、チャートを絞ることによってその迷いをなくしたわけです。結果的にそれらのチャートで大体の話は落とせるようになりました。ディバイドでも何でもいいので自分にとって使いやすいチャートを選んでそれを中心に使っていきましょう！

そして次はサジェスチョンです。S も実は場合分けできて、実際に打っている S って実は似通ってるってのがほとんどなんです。参考として僕がめっちゃお世話になったペーターさんのレクチャーにそういったことが載ってるので是非参考にしてください (<http://discussion2015.web.fc2.com/bsj-peter.pdf>)！これだけでも十分すぎるのですが僕からもアーギュトリートの S について言及させていただこうと思います。しょうじき春セミとかで勝敗を分ける要因の一つとしてアーギュトリートがあるのは否めません。だからこそこれはランクを取りたいなら絶対できるようにしましょ

う。そしてこれに関しても同様に**自分なりの型**を持てば何ら心配することはありません。例えば僕だったら大雑把に言えば、相手のアイデアの欠陥をカンファメして、これを否定するか、別のエリアで話すかどちらにする？というような流れの型を持っていました。しかし注意点が少しあります。それはトリートの際にアーギュメンター納得する部分をつかなくてはいけないということです。もし意図にそぐわない部分を突いたりしたらSは通らず自分のオーソリもだだ下がりです。だからこそ以前のステップでアーギュメンターの経験をさせることで**アーギュメンターの気持ち**がわかるようにしたのです。そこで学んだアーギュメンターの満足する部分（コア）、落としどころなどを意識してトリートをしていきましょう。

ちなみに「型」は我流でもいいですし、師匠など先輩に教わるのもいいでしょう。自分に適した型を身に付けてください！そしてベースは一つの型でいいのですが、**手札を増やしていく**ということも忘れないでください。ディスってというのは様々な状況が起こりうるので一つの方法論では対応できないことがあるのも否めません。また様々な手法が頭の中にあることにより未知の状況にたいしてもそれらを組み合わせて対応することも可能になります。手札をどんどん増やしていきましょう！！

「型」を身に付ける！
アーギュメンターの気持ちに基づいたトリート！
手札を増やす！！

5. 自分の理想のスタイルを確立する

さあここまで来たらディスカッションのノウハウがけっこう分かってきたんじゃないでしょうか。多分この時点でランクを取れる実力はすでについていると思います。しかしさらに上を目指すためにすべきことがひとつあります。それは**自分の理想のスタイルを確立**すること、言い換えれば自分の**強み**を伸ばすということです。自分がハンドラーになりたいとかアーギュメンターになりたいとか大雑把なものではなく、例えばオーソリをつけテーブルを支配し誰よりも早くハンドリングするスタイルなど明確であればあるほどいいです。明確なほうが自分が伸ばしたいところを伸ばしやすいので。ランカーのレベルになると基本的に今まで学んだようなことはみんなある程度できます。そのためそこから頭一つ抜けるためにはなんかしらの強みが必要なわけです。トップの奴らはみんなそういった強みを持っていました。引退してから自分のスタイルが確立しましたが、現役時代僕は基本的なことはできたけど強みなどはそんなにありませんでした。だからこそトップはとれなかったのかなと今になって思います（笑）トップを取るためにもみんなは強みを伸ばしましょう！！

理想のスタイルを確立！

強みを伸ばせ！！

6. 内容面を意識したディスを&プロソルの殻を破る

さあ今までさんざん技術について言及してきましたが結局それらは内容を議論するという目的のための手段でしかありません。議論をするための土台を作るために身に付けてきた技術を使い、磨いてきた懐疑的視点を存分に発揮させましょう。意見をぶつけ合うのって楽しいですし、内容で議論できること自体が強みになりますよ！

そして議論したいことがあっても普段のプロソルでは話しにくいことが生じてきます。それを話すためにプロソルではないニュープロ（New Procedure）というものの必要性が出てくるわけです。ですがニュープロって事故りやすいです。ハンドリングが不十分だと、ニュープロの進め方の話で三時間が終わってしまうことなんてよくあります。だったらコンパリで三時間議論してたほうがまだ楽しいし生産的です。だから自信がないのだったらプロソルの中でまずは完ぺきに戦えるようになることをおすすめします。例えば社会人で活躍している人は社会のルールに従って昇格していきます。そして自分に自信をつけ、自分の能力なら確実に成功すると分かってから起業などの新しいことに挑戦するのです。てことでこの春セミ期に成功したいなら**まずはプロソル内で戦えるようにして、自分の技術に自信がついたらニュープロなどに挑戦してみましょう！**もしニュープロ上でハンドリングをし、しっかり意見をぶつけ合えたなら文句なしにトップに立つことができるでしょう！！

内容を議論せよ！

まずはプロソル内→自信ついたらニュープロ！

☆時間がない人が優先してやること

ここまで色々と書きましたが、このレクチャーを載せる時期が春セミ直前とかなのでしょーじき全部こなすのは難しいかもしれません。ってことで時間がない人のために優先的に今からやるべきことを抽出して以下に載せておきます。詳しくは上の文章を参考にしてください。

- モチベート
- プレパ方法の見直し（師匠を探す&インプットアウトプットが特に重要）
- パンツになった時のためにアーギュの練習（どう DA プレに選ばれるか）
- トリート・ハンドリングの型を身に付ける（特にアーギュトリートはできないと死にます、）
- どういったディススタイルで大会に臨むか決める

これらの項目は優先的にこなしましょう。基本的に身に付けるのに時間がかかる項目ではなく、意識すれば変えられるもの、短期で身に付けられるものを抽出しました。しかし時間がある場合はやはり僕が書いたようなプロセスで成長していったほうがいいです。何度も言うように特に懐疑的思考がなければ議論とは言えないので。なので春セミが終わりアッセンまで時間ができたらぜひ僕が書いたステップで成長してってください！！

☆2年生がランクをとるために（春セミ）

2年生も基本的にはこれらのステップで成長していけばいいと思うのですが、特に強い3年生との間でディスをするとき大きな障壁が存在します。それは“オーソリティ”です。いくら技術を身に付けて正しいことを言っても、オーソリの前では通用しないことが多々あります。特にテーブルの主導権争いなどで負けてしまう場合が多いです。アーギュの流し合いとかで結局同じことを言ってる3年生が全部終わらせてしまうのがいい例ですね。ここに関しては自分なりに対処していかなければなりません。以下に対処法をいくつか載せたので参考にして、自分に合ってるなっものを使ってください。

- 発言の欠陥を指摘するなどしてオーソリを下げる
 - 1位の人を基本的にサポートし、足りない部分を補完して2位を狙う
 - 1位の人にダウトや反論をしまくって2位を狙う（オーソリで1位の人がテーブルから迫害してくるリスクもあります）
 - 1位の人がカンファメしてくれた時にSだけ自分がサラッと云っちゃう
- etc…

また2年生もDやD-を取れば理想ですが、現実的に時間もなくてそれは難しい人も多くいると思います。だから2カンランクを取るためにどうしたらいいか僕の意見を言っていこうと思います。まず**D-テーブルに入る**ことを目指しましょう。そのテーブルに入ったらもう2カンランクが確定だからです。具体的には上記のオーソリ対処法にも書いたような手法で特に3rdか4thにおいて2位を取りましょう。1位は取れなくても3rdで2位を取れば確定、3rdがちとしくじって4thD-テーブルに入った場合でも2位を取れば確定です。またどちらにおいても3位でもランク確定になる場合があります（その年のシステムによるけど）。てことで1位でなくても2位、ダメでも3位を取れるようにテーブルに臨みましょう。

ですがもし2カンテーブルに入ってしまったらどうすればいいのでしょうか。一番の2カン攻略法は**落ち着く**ことだと僕は思っています。2カンはみんなが好き放題しゃべって動物園になることが多々あるのですがそこで勝てるのが落ち着いて飼育員になれる

やつです。2カンにはいったひとはこれを念頭に置いて臨みましょう。

最後に

最後に2つ大事なことを、

自分の努力を信じる 勝ちへの執念を持ち続ける

まず前者について。よく春セミ期に不安な気持ちになる人がいますが、ネガティブになってもいいことはありません！自分がしてきた努力は誰にも負けないと、自信を持ち続けましょう！！ポジティブシンキング本当に大事です！！

そして後者です。僕は現役時代これが欠けていたなと反省しています。これがないとテーブルの途中であきらめたり、普段のブレパから妥協してしまったりします。みんなは後悔しないように春セミアッセン期くらいは泥臭くても勝ちにこだわり続けてください。

いやー、こんなに長くなるとは思いませんでした（笑）でも後輩にランクを取ってほしいという思いで書いてたら全然苦じゃなかったです！このレクチャーが君たちの思いを叶える手助けに少しでもなれたらそれほど嬉しいことはありません。また最初に言ったようにエデュケの際にも参考にしてくれたら幸いです。

連絡先を載せておくのでレクチャーで分からないこと、ディスの相談など何でも気軽に聞いてください！アメリカで吉報を待ってます！！

西山 修平

LINE ID ; duke29

Mail ; shuhei29@gmail.com